

# 鳥エコだより No.02

2021年 February

写真提供:漫湖水鳥・湿地センター



クロツラヘラサギ

クロツラヘラサギは世界的に個体数が少なく、絶滅危惧種に指定されています。全国的には飛来数が少ない野鳥ですが、沖縄県では越冬期には干潟等で観察することができます。



アカアシシギ



セイタカシギ

## 野鳥を観察しよう!!

沖縄県では、沖縄島北部にのみ生息するノグチゲラやヤンバルクイナのほか、宮古島のキンバト、八重山諸島のカムリワシなど約50種もの留鳥をはじめ、夏鳥のベニアジサシや冬鳥のクロツラヘラサギなど季節的に飛来する渡り鳥や迷鳥を含め約500種の鳥類が記録されています。

(参考資料:沖縄県レッドデータブック)

## オススメ観察スポット

漫湖水鳥・湿地センター(豊見城市字豊見城982)  
お問い合わせ TEL.098-840-5121

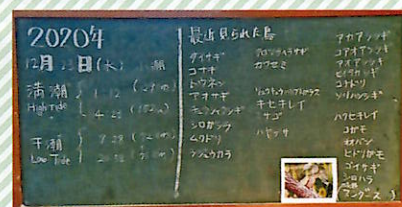
漫湖水鳥・湿地センターは、平成11年に「ラムサール条約」に登録された漫湖において、水鳥をはじめとする野生生物の保護と湿地の保全、賢明な利用について理解を深めていくための普及啓発活動や調査研究、観察などを行う拠点施設として設置されました。那覇市と豊見城市を流れる国場川と饒波川の合流地点に形成された河口干潟では、101種の水鳥を含むおよそ200種がこれまでに観察されています。敷地内にあるマングローブ林を抜ける木道は、秋から冬にかけての渡りのシーズンに水鳥を間近に観察できる人気のスポットです。



カワセミ



漫湖水鳥・湿地センター



野鳥案内板(センターロビー)





作ってみませんか♪

# ダンボールコンポスト

ダンボールコンポストとは、ダンボール箱を利用した生ごみ処理容器のことです。ダンボール箱に微生物が棲みやすい材料(基材)を入れて、微生物の力によって生ごみを分解し、堆肥を作ります。家庭から出る生ごみを処理するダンボールコンポストで、燃やせるごみの減量化と有効活用に取り組んでみませんか？



必要な物

- 基材: ピートモスまたはココピート15リットルともみ殻くん炭10リットル混ぜたもの(ホームセンター等で購入できます)
- ダンボール箱: 大きさの目安 縦30cm、横45cm、高さ30cm程度の物
- 虫よけカバー: Tシャツなどの古着を縫い合わせてカバーを作ろう
- スコップ: プラスチック製か木べらがオススメ(生ごみ混ぜ用)
- 温度計: 土に挿せるもの(発酵の進み具合をチェックする)
- 風通しの良い網目状の台



リメイク



Tシャツ

虫よけカバー

※1日に入れる生ごみの量: 500グラムから800グラムを目安として投入する

1

## ダンボール箱に底板を入れましょう

底板(ダンボール片)を入れ二重底にする。基材は全部直接箱に入れる。

2

## 温度を測りましょう

基材の真ん中の温度を測り、毎日記録する。(60℃ぐらいまで上がることもある)

3

## 生ごみを入れましょう

中心部に穴を掘って生ごみを入れ、上から基材をかぶせる。

6

## ベランダやお庭に置きましょう

雨のかからない風通しの良い網目状の台の上に置く。

5

## カバーをかぶせましょう

コンポストの下までしっかりとカバーをかぶせる。

4

## よく混ぜましょう

前日に入れた生ごみ部分のみよくかき混ぜる。また、週に1、2回スコップで箱をキズつけないように全体をよく混ぜる。

7

## 熟成させよう

### 発酵終了

毎日、生ごみを入れ続けていると温度があまり上がらなくなってくる。(約3ヵ月後)

### 熟成開始

温度が上がらなくなったら、生ごみを入れるのをやめて1週間に1~2回水(500~1,000ml)だけを与え、土でお団子が作れるくらい湿らせ、よくかき混ぜる。

## 完成

およそ3週間ぐらいで堆肥のできあがり!

完成した堆肥はビニール袋に入れ保存しながら使おう!!

参考資料:地球をキレイにする魔法のダンボール(発行:エコールマスターション 金城順子)

★講座情報★

## -はじめよう!エコ生活-ダンボールコンポスト作り連続講座 ※facebook live配信!

開催日:2/17(水), 3/17(水)10:00~12:00

会場:沖縄こどもの国 チルドレンズセンター2F(沖縄市胡屋5-7-1)

対象:2日間連続受講できる方(定員20名)

参加費:無料

講師:金城 順子 氏(エコールマスターション代表,NPO法人循環生活研究所認定 ダンボールコンポストアドバイザー)

お問合せ・お申込み:☎098-933-4190 沖縄県地域環境センター(沖縄こどもの国)



## 令和3年度 環境啓発活動の予定



令和3年度の環境啓発活動につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、年間を通して様々な自然観察会や体験講座、出前講座の開催を予定しております。

### ◇自然観察会

- 夜の生きもの観察会(6月ごろ)
- 海の生き物観察会(7月ごろ)
- 地域の森の生き物観察会(8~11月)
- 身近な生き物観察会(5~2月)
- 星空観察会(11月ごろ)
- 野鳥観察会(1月ごろ)



### ◇体験講座

- リサイクル体験工作(5~2月)
- 自然・生き物・標本作り体験講座(7~11月)
- 防災体験講座(9月ごろ)



詳細については、決まり次第随時、ホームページ・情報誌等でお知らせいたします。

※最新講座情報・参加申し込みはホームページをチェック!





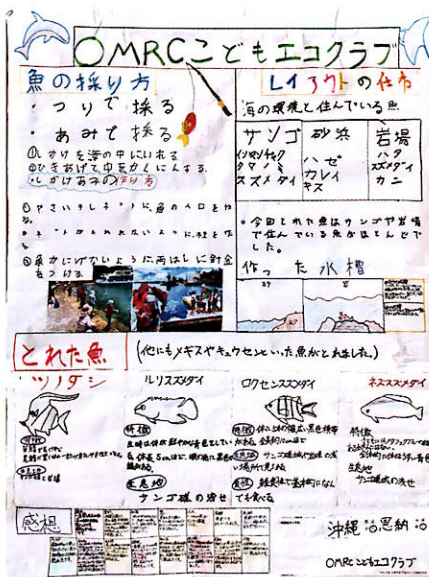


# こどもエコクラブ情報コーナー

## 2020年度 こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール」 壁新聞部門 応募作品

今年度は、恩納村の『OMRCこどもエコクラブ』と竹富町西表島の『西表ヤマネコクラブ』から、壁新聞が届きました。『OMRCこどもエコクラブ』は、恩納村の子どもたちを中心に結成され、海の生き物の調査や捕まえた生き物の生活環境に合わせた水槽作り等を行った成果を壁新聞にまとめています。一方、西表島にある小中学生で結成されている『西表ヤマネコクラブ』は、ホテルの観察・ビーチクリーン・水質調査等の様々な活動成果を記事にしています。

応募作品は、環境大臣賞・文部科学大臣賞などが選考委員会で決定されます。どちらのクラブも受賞できるように応援しています。



「OMRC こどもエコクラブ」



「西表ヤマネコクラブ」

## 沖縄県からの情報

「おきなわ環境教育プログラム集(学校教育編)(社会教育編)」を令和2年3月に刊行しました!

沖縄県では、地域や学校現場での環境教育の実践に役立てることを目的に策定した環境教育プログラムを時代に即した内容とするため、約15年ぶりに改訂しました。地域や学校等での環境学習・環境保全活動の実践にぜひご利用ください。

また、沖縄県地域環境センターでは、プログラム集による出前講座や、プログラムの進め方等の支援も行っていますので当センターまでお気軽にご相談ください。

### ☆改訂版の主な特徴☆

- ①「くらし」「ごみ」「水」「自然」「五感」を大項目として、生活に関連した身近なテーマを題材
- ②持続可能な社会の構築の観点に加え、関連する持続可能な開発目標(SDGs)のアイコン(17の目標)を表記
- ③「学校教育編」は、小学校高学年から中学生を中心に高校生までを対象とし、授業時間内で完結できる構成
- ④「社会教育編」は、幼児から大人まで幅広い年齢層を対象とし、様々な環境学習のテーマで使用できる構成



本プログラム集の冊子及びCD(PDF版)の提供も可能ですので、下記までお問い合わせください。

- ◎冊子等の問い合わせ先：沖縄県環境部環境再生課
- ◎出前講座・使用方法等の問い合わせ先：沖縄県地域環境センター

※本プログラム集は、沖縄県環境部環境再生課のホームページに掲載しています→ <https://www.pref.okinawa.jp/>





# 主な活動報告



## 11月7日『令和2年度 星空観察会』

糸満市の沖縄県平和創造の森公園にて星空観察会を実施しました。天候にも恵まれ、天の川が見えるほど満天の星空が満喫できました。



## 11月14日・21日

### 『やんばるの自然観察』live配信

「昼のやんばる(11/14)・夜のやんばる(11/21)」自然観察liveを実施しました。やんばるにしかない生きものたちや昼と夜のちがいをオンラインによるlive配信で多くの皆様に観ていただきました。



※facebookでご覧頂けます。

## 11月15日『ホロホローの森 自然観察』

八重瀬町具志頭にあるホロホローの森にて自然観察を実施しました。森から海岸線へと続く遊歩道をゆっくり歩いていくと豊かな自然を五感で感じることができました。



### 啓発活動実績

#### □環境教育出前講座

7/25(土)	恩納村文化情報センター『仲泊遺跡と自然観察会』
9/8(火)	西原町立坂田小学校『プラスチックな毎日』
9/8(火)	名護市立名護小学校『沖縄の自然や生き物』
9/9(水)	西原町立西原小学校『沖縄の自然や生き物』
9/10(木)	沖縄市立泡瀬小学校『ごみの行方』
9/15(火)	那覇市立城南小学校『災害を知ろう』
9/18(金)	沖縄県立沖縄盲学校『カメってどんな生き物だろう?』
9/24(木)	那覇市立安謝小学校『プラスチックな毎日』
9/24(木)	竹富町立竹富小学校『海の生き物』
9/24(木)	名護市立大宮小学校『やんばるの自然』
10/1(木)	那覇市立大道小学校『環境問題って何だろう?』
10/1(木)	名護市立屋我地ひるぎ学園『沖縄の自然や生き物』
10/13(火)	県立中部農林高等学校『土と植物の関係』
10/21(水)	宜野湾市立普天間第二小学校『沖縄の自然や生き物』
10/22(木)	北谷町立北谷小学校『環境問題って何だろう?』
10/24(土)	放課後デイサービスちゅらら『自然と遊ぼうネイチャーゲーム』
10/26(月)	沖縄アミークスインターナショナル小学校『学校内の自然観察会』
10/27(火)	県立森川特別支援学校(小学生)『めざせエコ生活～ペーパービーズ作り～』
10/29(木)	浦添市立前田小学校『ミライのエネルギー』
10/30(金)	シーサー保育園『星空観察会』
11/5(木)	県立森川特別支援学校(中学生)『めざせエコ生活～ペーパービーズ作り～』
11/6(金)	糸満市立高嶺小学校『プラスチックな毎日』
11/9(月)	那覇市立壺屋小学校『森の司令ゲーム』

11/20(金)	糸満市立光洋小学校『干潟の生き物』
11/26(木)	与那国町立久部良小学校『プラスチックな毎日とマイクロプラスチック調べ』
11/26(木)	那覇市立松島小学校『森の司令ゲーム』
12/11(金)	県立知念高等学校『沖縄の自然や生き物』

#### □環境啓発体験プログラム／自然観察会

7/23(金), 24(土)	『海辺の生き物観察とマイクロプラスチック調査体験連続講座』
9/13(日), 20(日)	『サバイバルの達人に教わる防災に役立つ連続講座』
9/17(木)	『捨てるものが役に立つとき』
9/19(土)	『夜の生き物の観察会』
9/27(日)	『葉っぱたんけん』
10/11(日)	『沖縄のダンゴムシ』
10/15(木)	『環境にやさしいみつろうラップ作り』
10/18(日)	『キミも化石博士～沖縄の化石を知ろう～』
10/24(土)	『キミもアリ博士～沖縄のアリ調べ～』
10/24(土)	『いろ色ちょうちょさがし』
10/25(日)	『キミも植物博士～植物の世界地図～』
11/1(日)	『手縫いでチクチク草木染で布マスク作り』
11/22(日)	『沖縄のカタツムリ』
12/5(土)	『牛乳パック一個で作る小物入れ』
12/5(土)	『海洋プラスチックごみが生物に与える影響～陸上動物編～オンライン講座』
12/6(日)	『国頭村空とぶ図書館 一葉派標本作り』
12/10(木)	『捨てるものが役に立つとき～卓上織り機で裂き織体験～』
12/13(日), 20(日)	『カエルの骨格標本作り連続講座』
12/19(土)	『カガクあそびフェスタ in 伊江島 東江上子ども会～ペーパービーズ作り～』



## 環境学習や、沖縄県地域環境センターへ

沖縄こどもの国チルドレンズセンター1階にある沖縄県地域環境センターでは、環境図書の閲覧ができるほか、環境教材の貸し出しや環境学習相談、地域や学校等での出前講座・自然観察会・リサイクル工作・啓発イベント等を実施しています。相談は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

<https://kankyo-center.okinawa>



令和3年2月(No.2)

発行者 **沖縄県環境部環境再生課**

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2064 FAX.098-866-2497

編集・お問い合わせ先

**公益財団法人 沖縄こどもの国**  
(沖縄県地域環境センター)

〒904-0021 沖縄市胡屋5-7-1 TEL.098-933-4190 FAX.098-932-1634  
<https://kankyo-center.okinawa> Mail: [kankyo-center@okzm.jp](mailto:kankyo-center@okzm.jp)



Facebookアカウント

@okinawakanyocenter



twitterアカウント

@kankyookinawa

